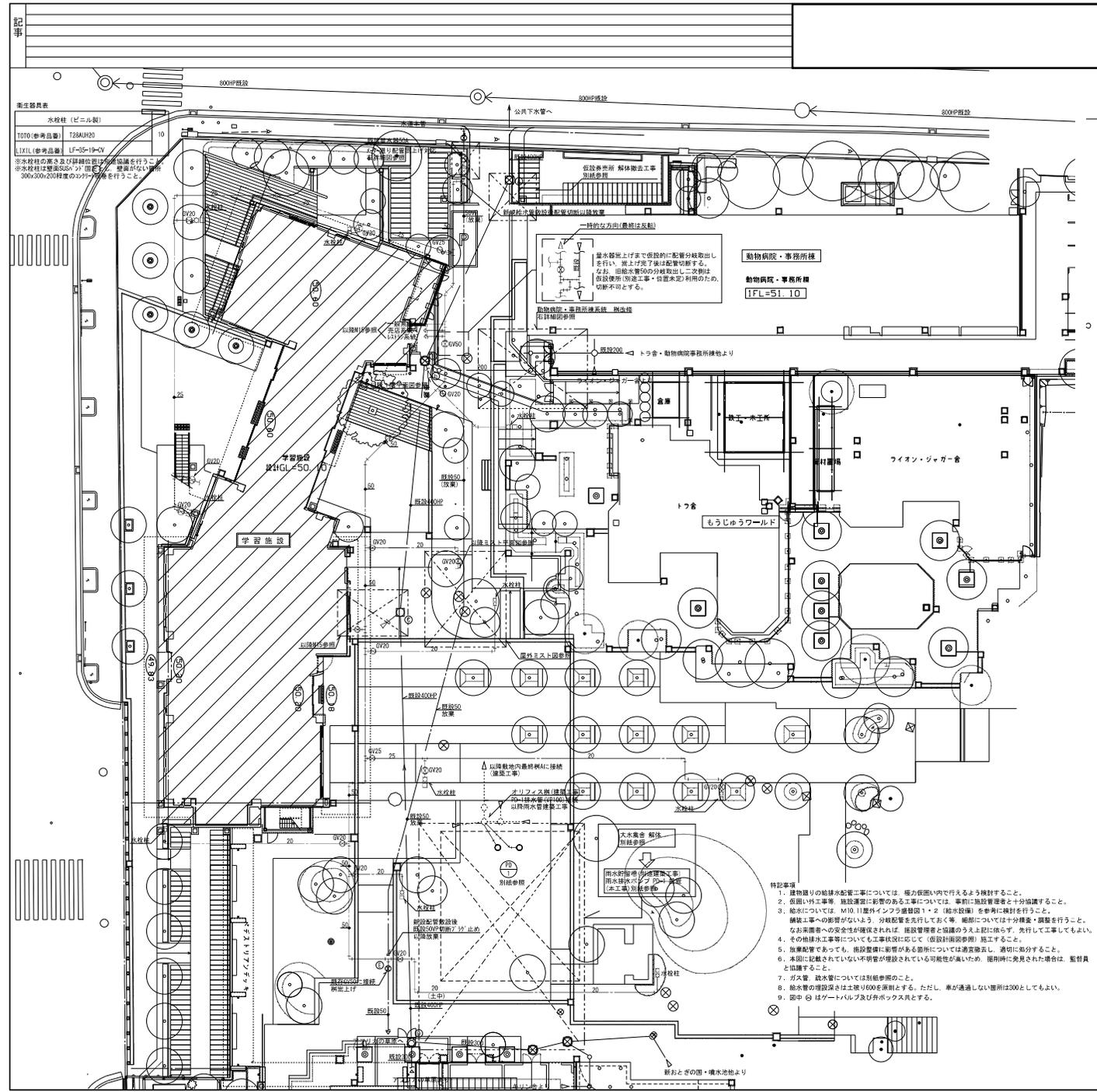


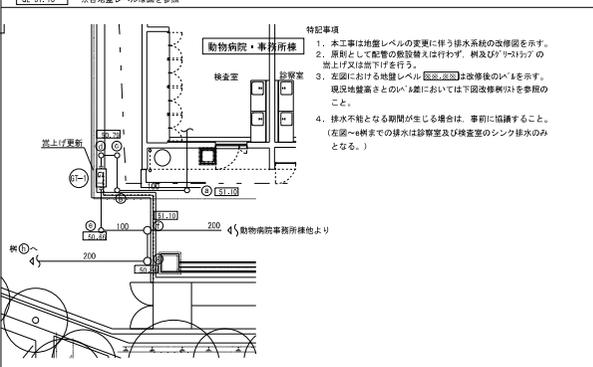
「学習・利便施設」内店舗施設図面 設備図面 [参考図]

※本市施工範囲に示す機器仕様及び設置位置等は参考とし、変更となる場合があるので注意のこと。

【設備図面】①配置図 (衛生設備)



動物病院・事務所棟系統 樹改修(撤去・新設図)



既設樹改修リスト

記号	名称	寸法・規格	置種類	樹深さ (既設)	樹深さ (改修)	改修内容
①	インバーツ樹	600φ	MA600	390mm	350mm	樹上げ50mm, 樹蓋更新
②	インバーツ樹	600φ	MA600	270mm	300mm	樹上げ30mm, 樹蓋更新, G-1改修
③	インバーツ樹	600φ	MA600	230mm	260mm	樹上げ30mm, 樹蓋更新, 積込蓋(S)設置
④	インバーツ樹	SC-4 900φ	MA600	230mm	—	パイプ改修
⑤	止水存根	鉄線鉄	—	—	—	既設再利(蓋), 新設樹改修(蓋共)
⑥	小口存根	90, 100 x 200	樹形部蓋 200φ	530mm	530mm	樹深レベル変更なし, 改修不要
⑦	小口存根	90, 100 x 200	樹形部蓋 200φ	490mm	550mm	樹上げ50mm, 樹形部蓋再利
⑧	小口存根	90, 100 x 200	樹形部蓋 200φ	410mm	500mm	樹上げ90mm, 樹形部蓋再利
⑨	小口存根	90, 100 x 200	樹形部蓋 200φ	420mm	410mm	樹下げ10mm, 樹形部蓋再利
⑩	小口存根	90, 100 x 200	樹形部蓋 200φ	420mm	410mm	樹下げ10mm, 樹形部蓋再利
⑪	小口存根	90, 100 x 200	樹形部蓋 200φ	560mm	520mm	樹下げ40mm, 樹形部蓋再利
⑫	小口存根	90, 100 x 300	防護蓋 T-8 φ300	860mm	860mm	樹深レベル変更なし, 改修不要
⑬	小口存根	90, 200 x 300	防護蓋 T-8 φ300	2200mm	1760mm	樹下げ440mm, 樹形部蓋再利
⑭	小口存根	45, 200 x 300	防護蓋 T-8 φ300	1480mm	1790mm	樹上げ300mm, 樹形部蓋再利

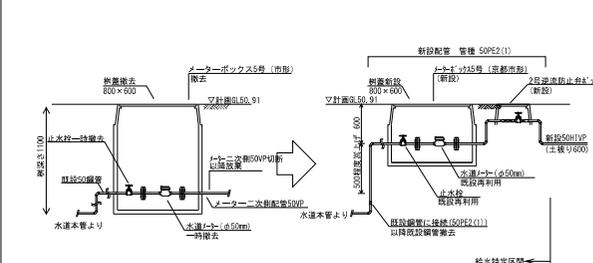
注記 1. 建築外構工事に伴い、壁土がされる箇所については、該当樹の改修工事を行う。
2. 樹蓋上げ又は樹下げ高さは現場にて調査すること。

既設設備機器リスト

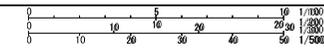
記号	名称	寸法・規格	樹深さ (既設)	樹深さ (改修)	改修内容
GT-1	グリス組集積	ホーコスト H15-60P 地中埋設型 SUS製T-8	1100mm	850mm	・樹上げ部 (KS8-50 (500H)) を撤去 ・樹上げ部 (KS8-50 (150~250H同等)) を撤去 ・樹形部蓋一時撤去・再取付 ・上記に伴う床面モルタルはつり補修

※高さは現場にて再度確認すること。

量水器樹蓋上げ詳細参考図 (S=non)



特記事項
※本工事箇所は既設パイプの継ぎ目にあるため、樹上げ後の737Aが既設継ぎ目・本継ぎ目(手前側)を行うことを想定しているが、継ぎ目の安全性を確保するため、この箇所では既設継ぎ目の保証を得ること。
※給水特定区間は給水特定工事(建築物内上下水道)における特定区画を使用すること。
※一時取水は最小限となるよう計画するとともに、断水期間については事前に協議すること。
※従来とした配管において、重要工事に伴う変更がある箇所については適宜調査を行うこと。

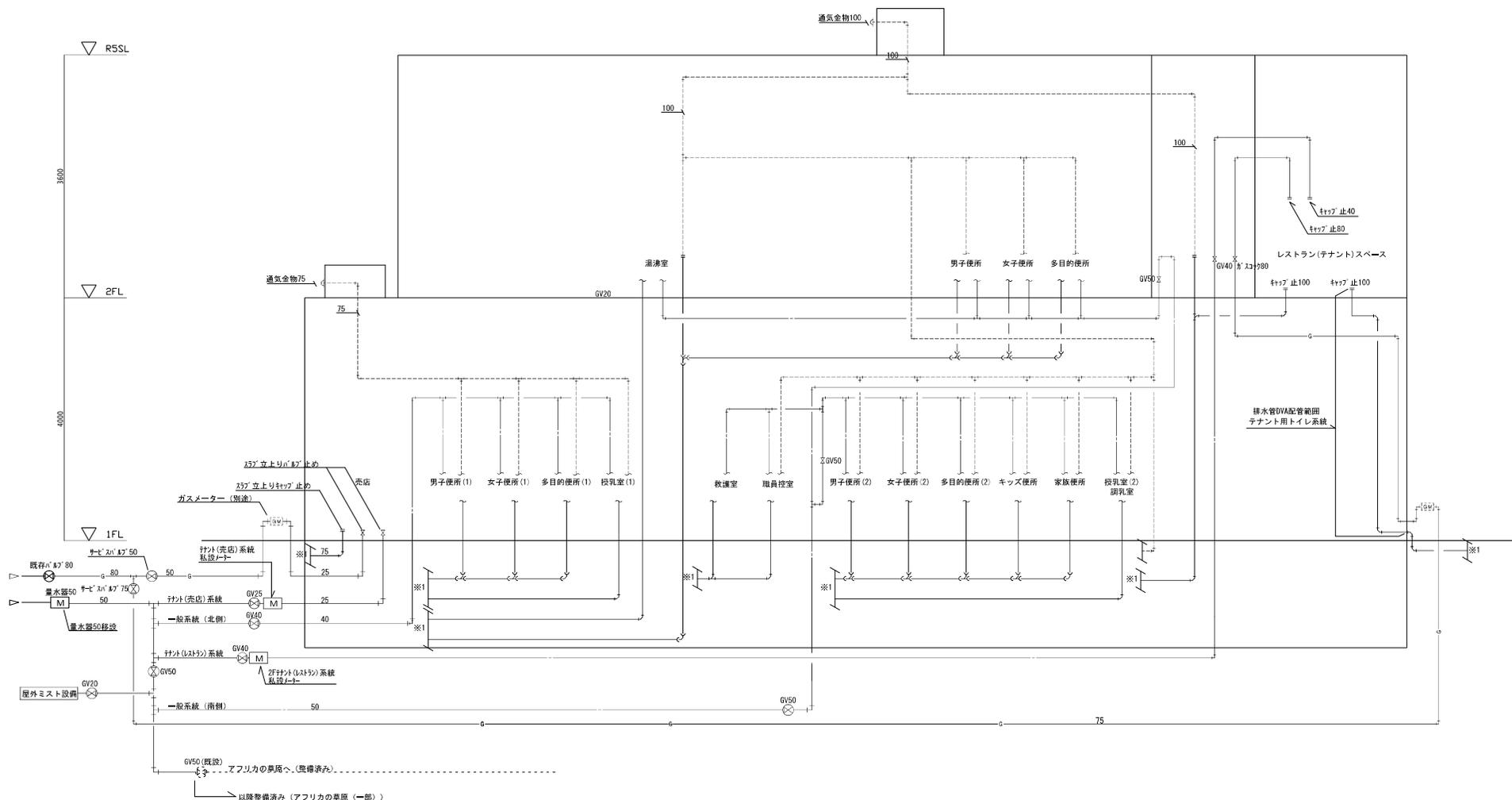


配管凡例

線種	管理等
——	給水管
----	排水管
----	通気管
—○—	ガス管
----	疏水管

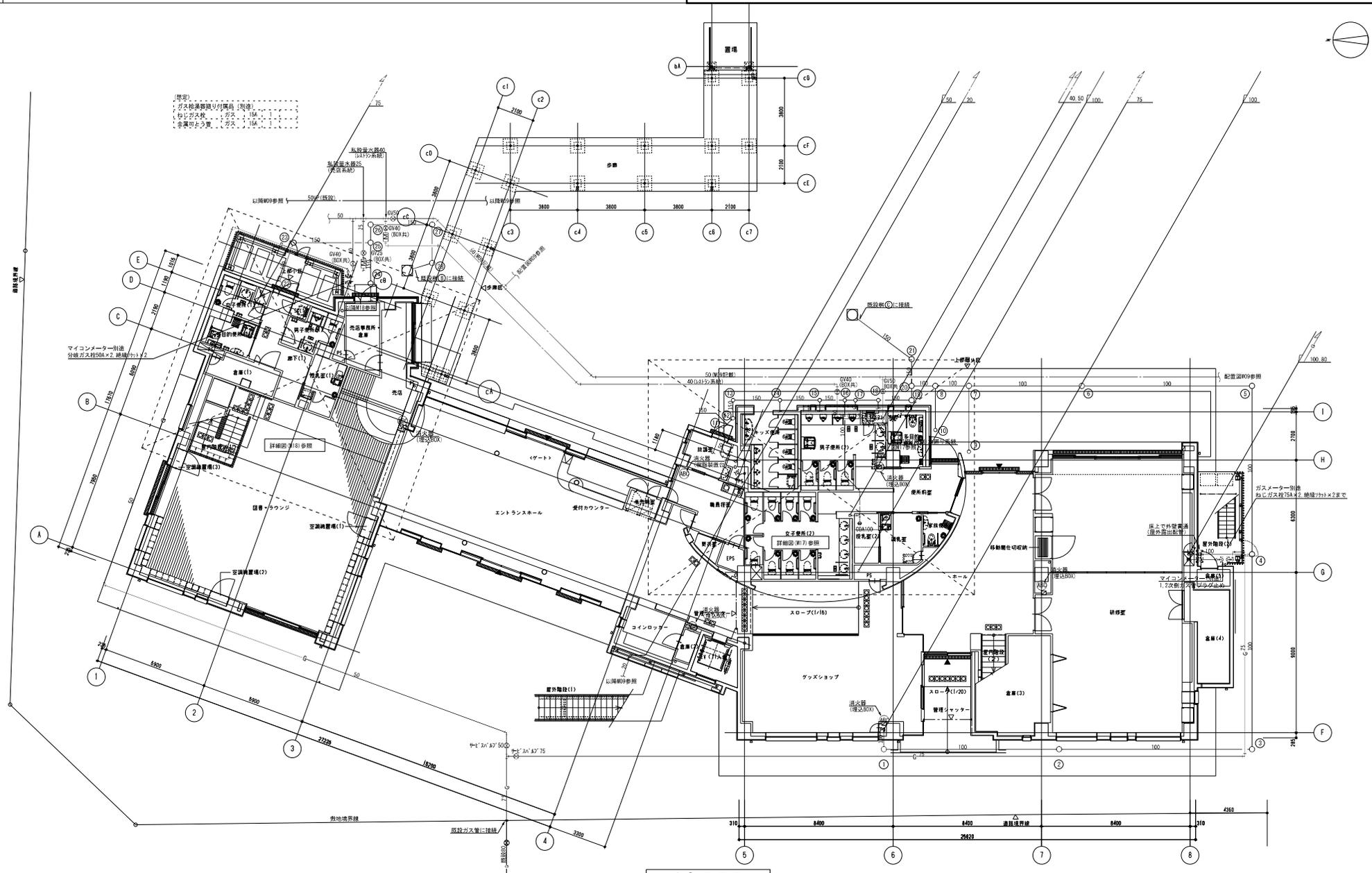
注記事項 (衛生設備全般)

1. 汚水配管は原則次曲線手を使用すること。
2. 自動FVの二次側電気配線・配管工事は本工事とする。
3. タッチスイッチ等の配置はJISによること。
4. 配管ピット内の支持金物はステンレス金物を使用すること。
5. 通気立て管は最高位器具あふれ面より150mm以上立ち上げて接続すること。



注記) 1. ※1は屋外集水樹に接続を示す。

【設備図面】 ③ 1階平面図 (衛生設備)



〔標準〕
 ・ガス検知装置(付属品) (別添)
 ・杉じがス機... (ガス) 150
 ・金庫用とス機... (ガス) 150

1階平面図

〔注記〕
 1) ○(実)は「床下配管」、○(天)は「天井配管」、特記なき配管は床下配管とする。
 2) ⊕ は船舶用消火器10型を示す。(埋込BOXは建築工事、樹脂設置台は木工事)

